

光星ナイン 甲子園練習 さあいくぞ!初戦へ闘志



武岡主将(左端)の掛け声で、グラウンドに駆けだす八戸学院光星ナイン=18日午後、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場

第91回選抜高校野球大会に出場する本県の八戸学院光星の選手たちは18日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で練習を行った。選手たちは聖地の独特な雰囲気を感じながら土の感触を確かめ、広島県の強豪・広陵と

の初戦に向けて気持ちを高ぶらせた。大会は23日に開会式が行われる。
【関連記事13面】
公式戦ユニホームを着た八学光星ナインは18日午後八時に甲子園入り。同4時にグラウンド内に整列すると、

武岡龍世主将の「いくぞ」の掛け声でナインは一斉に守備位置に散り、はつらつとプレーした。
練習では打撃は行わず、シートノックや走者を置いた場面を想定した実戦形式の守備練習を実施。内・外

野手は声を掛け合いながら連係プレーを確認し、投手陣は実際にマウンドに立ち10球ほど投げ込んだ。
冬場は積雪の影響で土の上で練習できない光星ナイン。仲井宗基監督は「八戸を出発して1週間、やっと土になじんできた。順調に仕上がってきている」と好感触の様子。武岡主将は昨夏の甲子園に主力選手として出場しており「ここでエラーをしたことを思い出した」と苦笑い。それでも声を掛け合い、良い緊張感を持ってやっていく。優勝旗を絶対に持ち帰る」と決意を新たにしました。
八学光星の初戦は26日午前11時半開始予定。
(高松拓輝、写真も)